

敬老の日を迎えるにあたり 9月

今年も「敬老の日」がやってきます。北久原区では、コロナ感染拡大防止のため2年間式典も行わず記念品の配布だけでした。今年こそは飲み食いをしなくても式典を行い、多年にわたって北久原区や地域社会に尽くしてこられたお年寄りの長寿をお祝いしたいと計画を進めてまいりました。しかし、行動制限がないお盆の人流の影響なのか感染者数が大幅に増加しました。そのために、昨年と同様に記念品を配布するだけの敬老会になってしまい、楽しみにしていたお年寄りの方に申し訳ない気持ちでいっぱいです。



柴田トヨさん（98歳）が詩集『くじけないで』でした。この詩集の中で私が好きな詩を2編紹介します。

生きる力

九十を越えた今
一日一日が
とてもいとおしい

頬をなでる風
友からの電話
訪ってくれる人たち

それぞれが
私に
生きる力を
与えてくれる



くじけないで

ねえ 不幸だなんて
ため息をつかないで

陽射しやそよ風は
えこひいきしない
夢は
平等に見られるのよ

私 辛いことが
あったけれど
生きていてよかった

あなたもくじけずに



本の表題になった「くじけないで」は、96歳の作品でした。どの作品にも込められているのは、「人生、いつだってこれから。だれにも朝はかならずやってくる。」

という前向きな思いでした。

もし、みなさんが悲しくなり、辛いなど感じたりしたときは、トヨさんの詩を思い出して前向きなエネルギーを取り戻してほしいと思います。